

## 令和2年度一般会計予算の上半期における執行状況（概要）

令和2年9月30日現在（上半期）における一般会計の予算規模は、31,635,303千円（繰越明許費を含む。）で、前年同期の24,615,074千円と比較しますと、7,020,229千円の大幅な増となっていますが、これは新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨災害への対応による臨時的な支出が増えたことにより

ます。

この予算を執行するに当たっては、

- (1) その経費が既に執行の時期にきているか
- (2) 内容や方法は適切であるか
- (3) 予定された特定財源の確保の見通しはどうか

などについて十分留意し、経費の効率的運用と収支の均衡に努めています。

9月末日における収入済額は、15,432,563千円で、前年同期9,911,155千円と比較しますと、5,521,408千円の増となっています。

収入済額の大半は市税3,012,677千円、地方交付税3,849,346千円、国庫支出金7,093,560千円等が主なもので、また、収入済額の調定額に対する収入率は、74.0%（前年同期64.0%）、予算現額に対する収入率は、48.8%（前年同期40.3%）となっています。

一方、歳出の執行額は、14,026,043千円で、前年同期8,791,731千円と比較しますと、5,234,312千円の増で、執行率44.3%（前年同期35.7%）となっています。